

タイトル： その国や人を知りたければ歴史を学びましょう。

本日のタイトルは「その国や人を知りたければ歴史を学びましょう」です。

この言葉は、当社が入居するビルのオーナーXさんに言われたことです。私はXさんを見かける度に捕まえては、いろいろとお話を伺っています。この方の話が大変興味深いのです。

まずは、Xさんの人となり・・・

Xさんは60代のタイ人男性です。6人兄弟の次男、4番目です。Xさんのお父さん（現在100歳）が18歳の時に中国から移民してきました。Xさんはタイで生まれの華僑2世です。

繊維業で財を成し、現在は、繊維業のほかに不動産業をしています。誰もが知っている日系企業のタイ側のパートナー企業のオーナーです。

このXさんはタイで大学を卒業後、日本の大学へ進学し卒業。日本語はパーフェクトに話します。兄弟全員が、日本、香港、アメリカなど海外で教育を受けています。

前置きが長くなりましたが・・・。

ある日、Xさんを見かけます。どうやらお1人のようです。それで、声を掛けました。話しているうちに、このXさんは、世界中の歴史に大変詳しいのが判りました。

タイだけではなく、中国、日本、西洋の歴史、などなど…。また宗教にも詳しいのです。

そこで、Xさんに「なぜそんなにも歴史に詳しいのでしょうか？」と聞いてみました。そうしたところ、このような答えが返ってきました。

～～～

私はビジネスを通じて、日本だけではなく、中東諸国、ヨーロッパ、中国、韓国、アメリカ、インド…多くの国の人と仕事をしてきました。

その時に考え方の違いや、認識の違いに多く遭遇しました。

なぜ、外国人である相手はこんな風に考えるんだろう？なぜこのような反応なのだろう？と疑問に思ったのです。

時代は刻一刻と変わり、人々の認識も時代に応じて変わります。しかし、根本的なもの…。DNA なのでしょうが…。奥の奥…

そこはどんなに歴史が積み重なっても、変わらないものが存在すると思ったのです。

それで、ビジネス上関わりのある国、最初は中国、そして日本の歴史を勉強し始めたのです。

中国人と日本人は顔つきは似ていますが、たどってきた歴史には大きな違いがあります。島国と大陸という違いはあるかもしれませんが、歴史書を読んでいくと興味深い事が判りました。今の中国人、今の日本人が「なぜ、そう考え」、「なぜ、そう行動するのか」の詳細が、それぞれの国の歴史を学ぶことで判りました。相手の言っていることの“真意”も判るようになりました。

歴史書が難しければ、映画やドラマでも良いですね…。その国の歴史背景がわかると、相手の考え方の基本が判るので、よりスムーズな関係を築けますよ。

～～～

X さんとは 1 時間半ほど話したでしょうか…。

日本人である私が、タイの人をより深く知るには、歴史を学ぶとより良い関係性を築くヒントになるかもしれません。また、これを読んでいる皆さんが外国人の友人や同僚、上司がいる場合に、相手の国の歴史を学ぶことは、相手を深く知ることに繋がり、結果、今以上に良い関係を築くヒントになるかもしれませんね。

何かのご参考になれば幸いです。